

# 会 議 録

## 1 会議名

平成27年度第2回中郷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### （1）協議（公開）

地域活動支援事業について

### （2）その他（公開）

## 3 開催日時

平成27年5月9日（土）午後1時30分から午後5時35分まで

## 4 開催場所

はーとぴあ中郷 研修室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：岡田雅範、岡田豊、岡田龍一、坂田浪平、高橋達也、竹内昭彦、  
竹内朗、竹内靖彦、古海博康、山内敏夫、横山一政、陸川昇一
- ・ 事 務 局：小嶋久雄中郷区総合事務所長、山田弘次長、柳崎清市民生活・  
福祉グループ、教育・文化グループ長  
総務・地域振興グループ 丸山良彦班長、樋口和輝主事

〔 以下、総務・地域振興グループは総務G、市民生活・福祉グループは  
市民G、教育・文化グループは教育G、グループ長はG長と表記 〕

## 8 発言の内容（要旨）

### 【丸山班長】

- ・ 会議の開会を宣言

### 【岡田（豊）会長】

- ・ 挨拶

【丸山班長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【岡田(豊)会長】

- ・会議録確認：「岡田龍一」委員と「竹内昭彦」委員に依頼。
- ・協議事項(1)の「地域活動支援事業について」  
事前配布された資料等の説明を事務局に求める。

【丸山班長】

- ・事前配布資料等に基づき説明

【岡田(豊)会長】

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

ー 特に質問・意見等なし。会場変更 ー

【岡田(豊)会長】

- ・プレゼンテーション開始宣言  
中郷保育園保護者会の説明を求める。

【中郷保育園保護者会】

- ・提案書に基づき説明

【岡田(豊)会長】

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

【岡田(豊)会長】

太鼓を購入するのがひとつの提案事業と思われるが、保護者会としてどのように事業努力をするのかがよくわからない。例えば、保護者会で寄付金を集めるとか、寄付金がある場合は使うとか、或いは、太鼓の練習にこのように取り組んでいくとかなどが見えてこない。

【中郷保育園保護者会】

このような形で要望することは初めてなので、事業努力という点までは考えてこなかった。もし要望が通った場合は、大切に引き継ぐ伝統の事業であることから、園児たちにも太鼓を大事に扱うように指導をしていきたい。

【岡田(龍)委員】

すでに所有している太鼓はどうするのか。

**【中郷保育園保護者会】**

保育園には、現在 35 個の太鼓がある。そのうち使用可能な太鼓は 10 個程度であり、さらに、本来の形をきちんと維持しているものは、このうち 5 個程度という状況である。このように、太鼓の数自体はそれなりにあるが、使えないものがほとんどであることから、今回購入を計画した。

**【高橋副会長】**

現在の活動として、“なかごう夏まつり”などで太鼓を披露しているとのことであるが、コミュニティスクール関係で保育園から中学校まで一体となって子供達を育てていこうという動きがある中で、例えば小学校や中学校の文化祭やイベントなどにおいても同様に披露する場面を設けてはどうか。そのような交流もあってもよいのではないかと思う。

**【岡田(豊)会長】**

法被は揃えているのか。

**【中郷保育園保護者会】**

揃えてあり、こちらは全て使用可能の状態である。

**【山内委員】**

県外から見積もりをとっている。少しでも経費を抑えようとする姿勢は評価できるが、見積もりはなるべく市内の地元業者からとることになっており、審査の点数に影響がでる場合があるが、構わないか。

**【中郷保育園保護者会】**

構わない。

**【岡田(豊)会長】**

続いて、中郷観光協会の説明を求める。

**【中郷観光協会】**

- ・提案書に基づき説明

**【岡田(豊)会長】**

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

**【古海委員】**

2 点ほどお聞きしたい。1 点目は駅舎についてだが、現在の所有権は誰になっている

か。また、借用することに際し、口頭ではなく書面による賃借契約を行っているのか。  
2 点目は見積もりについてだが、中郷区以外の業者からとっているが、地元の業者からとる気はないのか。

**【中郷観光協会】**

駅の所有権は「えちごトキめき鉄道」となっており、今後、6 月上旬に協議・打ち合わせの会合を開く予定である。見積もりの件については、まちづくり振興会の若いメンバーの考えもあり、以前に直江津駅や高田駅の内装を請け負ったことのある業者に依頼した。

**【岡田(雅)委員】**

見積もりに伴う「仕様」についてお聞きしたい。改装は、ただ綺麗にするだけではないと思われるが、どのようなコンセプトをお持ちか。

**【中郷観光協会】**

まず、リフォームだが、壁は一面、白で統一し、中を明るくするため電球を設置、また、天井が高いため、高さを調整したいと思っている。さらに、将来的には軽食喫茶コーナーも設置できればと考えており、これに伴う「水回り」を整備したい。また、既存で括り付けの待合用の椅子があるが、これは再利用をしたいと考えている。このようなことが見積もりの中に含まれている。

**【岡田(雅)委員】**

例えば、「改装することによって、明るく楽しく人が集まりやすい環境となり、ついでには地域の活性化につながる。」そのようなコンセプトがあったらよかったのだが。

**【中郷観光協会】**

えちごトキめき鉄道開業記念の時は、現状のままに、区内の皆さんが持っている昔からの写真や駅周辺の写真を集めて、ただ掲示するのみであった。また、昨年 11 月に「中郷二本木駅おもてなしツアー」を企画した際には、上越市内のみならず長岡市や三条市などから 100 名ほどお越しいただいたが、手を洗う場所もなかったことから、小さな手洗い場を見積もりに入れている。さらに、現在、ジオラマが放置されたままの状態となっているため、展示するための机なども見積もりに含んである。

**【竹内(昭)委員】**

事業を続けていくには、維持管理が必要と思われる。電気代や展示品の管理などが挙げられるが、どのように考えているか。

**【中郷観光協会】**

観光協会として、現状では寄付金とほぼ同額の金額を市の補助金としていただいている。観光協会の賛助会員となることによって会費が増えることになるため、会員数を増やすことを考えている。また、今後、喫茶店を経営してくれるような方々がでてくるか、あるいは関山駅のようにボランティアを募集して行っていくかは、今現在において是不透明な状況である。

**【岡田(豊)会長】**

続いて、中郷フィッシングサークルの説明を求める。

**【中郷フィッシングサークル】**

- ・提案書に基づき説明

**【岡田(豊)会長】**

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

**【竹内(靖)委員】**

ニジマスの総数は何匹位になるのか。また、去年は天候不順により参加人数が少なかったが、仮に今年も悪天候となった場合、さばき切れない可能性があると思われるが、そのような状況は考えているか。

**【中郷フィッシングサークル】**

悪天候になった場合は中止を考えており、業者にはお金は支払わないでよいことになっている。また、ニジマスは1kg当たり大体5~6匹である。

**【竹内(靖)委員】**

悪天候になった場合、「お金を払わない」ということは、「補助金を使わない」ということになるため、この辺をもう少し精査していただきたい。また、今回審査するに当たり、個人的に継続事業について観点を変えて見ているが、仮に、このような補助金がない場合、事業を止める可能性はあるのか。或いは、補助金がなくても行っていける可能性はあるのか。

**【中郷フィッシングサークル】**

補助金がなければ、事業を続けていく考えはない。当団体は13人と少数であり、もっと人数が多ければ何とかなるかもしれないが、現状では無理である。

**【岡田(豊)会長】**

支出に「木炭」と「ゴミ袋」が記載されているが、これは、魚を焼いて食べさせる

ということだと思われる。そのような場合、誰がさばくなど衛生管理面についてどのように考えているか。

【中郷フィッシングサークル】

当団体の者が、縄文公園でさばき、洗った後、塩をかけて焼いている。

【岡田(豊)会長】

それは、きちんと水道水を使って洗っているのか。また、鮮度を落とさないようにしてさばいているのか。

【中郷フィッシングサークル】

魚を捕まえた後、直ぐに腸をだし、縄文公園の水道水で洗って焼くようにしている。

【岡田(豊)会長】

続いて、中郷商工会青年部の説明を求める。

【中郷商工会青年部】

・提案書に基づき説明

【岡田(豊)会長】

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

【竹内(靖)委員】

ポロシャツやブルズンは会員の方に貸与するのか、それとも支給するのか。また、これは継続事業であるが、今後の見通しはどのように考えているか。

【中郷商工会青年部】

ポロシャツやブルズンは今年度各 50 枚ということで計画している。また、今後の見通しについては、ある程度の採算が取れるように努めていきたいが、何分商工会青年部のみでは活動も限られてしまうため、外部からの意見などを集約し、何とか継続的に事業を続けていければと考えている。

【岡田(豊)会長】

先ほどの質問では、ポロシャツやブルズンは会員の方に貸与するのか、それとも支給するのかを聞いていたのだが、それについてはどうなのか。

【中郷商工会青年部】

いずれも貸与する考えである。

【岡田(豊)会長】

この地域活動支援事業もいつまでも続くわけではない。いつか無くなるということ

を考え、「さとまる」が死に体にならないように努めていく必要があると思われる。

**【中郷商工会青年部】**

今回の活動支援の一番の目的として、新たにサポーターズクラブ制度を導入していきたいという考えがある。こちらの活動が広くできるように、アピールやグッズも採算を取れるようにしていきたい。

**【山内委員】**

イベントのPR活動を行うということであるが、活動費の中に資金は含まれているのか。

**【中郷商工会青年部】**

サポーターズクラブについては、募集をかけた後の活動は原則無償ということ考えている。

**【高橋副会長】**

以前に、中郷区の松ヶ峯地区で祭りをするなどし、集客を上げるようなことがあったと記憶している。このように、地元にお金が落ちるような方策のイベントを企画するなどし、資金を確保することも考えたらどうか。また、支出の中にクリーニング代が記載されているが、これは継続する限り毎年計上されるものであるが、せめて、このクリーニング代位は稼げるような努力をしなければいけないのではないか。会員を募集した中で、サポーターからもワンコインでよいから会費として集めて、一緒になって活動していくなどし、資金を上げていくことも大事なことだと思う。

**【岡田(豊)会長】**

続いて、ひだまりの会の説明を求める。

**【ひだまりの会】**

- ・提案書に基づき説明

**【岡田(豊)会長】**

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

**【岡田(龍)委員】**

参加者の対象者が40名となっているが、これは全体のものなのか。

**【ひだまりの会】**

全体のものである。

**【竹内(靖)委員】**

温泉癒しツアーということで、月1回、板倉の“やすらぎ荘”へ行くとのことであるが、これは、“ひばり荘”が当初の要望の計画と違うため、“やすらぎ荘”へ行かざるを得ないという状況で、せつなまぎれの申請と思われる。このような状況に対し、市や地域協議会としても、状況の調査をする必要がある。一般的には、地元の“ひばり荘”が改築、オープンしたにも関わらず、何故ゆえに、わざわざ“やすらぎ荘”へ行かなければならないのか、このような理不尽なことがあってよいのかということである。もし、月1回、“ひばり荘”がボランティアの費弁や送迎の件について当初の予定通り行うとの回答が得られるのであれば、“やすらぎ荘”へ行かなくてもよいのかどうか、むしろ“ひばり荘”へ行きたいのか、その辺の本質をお聞きしたい。

**【ひだまりの会】**

利用者は当然のことながら“ひばり荘”へ行くことを希望している。

**【竹内(靖)委員】**

では、今後、“ひばり荘”との調整が行えた場合は、“ひばり荘”に変更が可能と捉えてよいか。

**【ひだまりの会】**

そのように捉えていただいて構わない。

**【高橋副会長】**

自己資金が800円に対して、入館料、これはおそらく“やすらぎ荘”と思われるが、320円と昼食代が500円で、計820円となっている。今のお年寄り結構お金を持っていると思われるので、例えば900円なり1,000円をいただいて、残った額を自己資金に回していくように次年度に向けて何らかの形で継続していくようにできないか。地域活動支援事業もいつまでも続くとは限らないため、対処を考えていかなければならないと思う。

**【ひだまりの会】**

言われることはもっともなことだと思うが、ボランティア団体のため、自己資金を蓄えてよいものか躊躇しているのが現状である。

**【岡田(豊)会長】**

続いて、中郷区まちづくり振興会生活環境部会の説明を求める。

**【中郷区まちづくり振興会生活環境部会】**

- ・提案書に基づき説明

**【岡田(豊)会長】**

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

**【岡田(龍)委員】**

事業の実施スケジュールの中で、“補修後保管する、”と記載されているが、今まで作ったものはどこに保管されているか。また、今後の活用方法は考えているか。

**【中郷区まちづくり振興会生活環境部会】**

“は一とぴあ中郷、”の倉庫に保管している。看板等は木製のため、風にあおられることもあり、傷みが激しいことから補修は毎年していかなければならない。

**【高橋副会長】**

今、設置されている場所は総合事務所の前となっているが、ここが不法投棄防止を周知するのにふさわしい場所かどうか疑問である。区内でも、結構と不法投棄がされている場所が存在する。最も効果があると思われる場所に設置すべきなのは。

**【中郷区まちづくり振興会生活環境部会】**

実際に不法投棄されている場所については、勤労連が相当の看板を集中的に設置している。当部会の看板は、小学生や中学生が非常に丁寧に作った看板である。この看板自体はもろい構造になっていることから、傷つけられると使い物にならなくなってしまふ。このため、なるべく人目につきやすく、かつ安全な場所を選んで設置している状況である。

**【岡田(豊)会長】**

小学生や中学生が一生懸命書いてくれた看板であれば、人目につきやすい場所として二本木駅にも1、2枚設置するなど考慮してはどうか。

**【中郷区まちづくり振興会生活環境部会】**

今後、検討したい。

**【山内委員】**

あまり人が多い所に看板を設置しても効果がないと思われる。実際に不法投棄される場所は人目につきにくい所である。このため、人目につきにくく、且つ、これまでに不法投棄があった旧国道など道路沿いに設置した方がよいのではないか。

**【中郷区まちづくり振興会生活環境部会】**

国道や県道については管理が非常に厳しく、設置するための手続きが大変である。以前、設置した際には、何度も高田の事務所に呼び出され、「強風が吹いて危険である。」

とか、留めておいた画鋏が外され、それが散歩していた犬に刺さったこともあった。このように手続きや維持管理に相当の労力を費やすことになり、安易に設置することができない状況である。

【岡田(豊)会長】

続いて、中郷商工会の説明を求める。

【中郷商工会】

・提案書に基づき説明

【岡田(豊)会長】

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

【岡田(豊)会長】

総体的な全体像は見えているが、ガイドブックなど進捗状況についてはどうか。また、ガイドの養成に対する講師費用は商工会で負担するのか。

【中郷商工会】

ガイドブックについては、データは抽出しているが、まとめるところまではいっていない。「鉄旅」の商品化については、正直なところ明確化されていないが、いろいろな意見を聞いて、それをまとめていく予定である。具体的なことは、やはり専門家からのアドバイスが必要だ。また、ガイドの養成に対する講師費用等については、別の補助事業を使って充てる考えである。

【高橋副会長】

ガイドブックの配布場所と活用法については、どう考えているか。

【中郷商工会】

配布先は区内全世帯を予定している。興味のない方は見ていただけない可能性もあるが、できるだけ興味を引くように工夫してみる。あと、二本木駅に設置するほか、連絡のあった方に配布をするが、ぜひ中郷区の皆さんにも見ていただきたいという思いがある。ページ数については、32ページにするのが最も印刷コストがかからないとのことであるため、これを目安にして作成したいと考えている。

－ 休憩（10分）－

【岡田(豊)会長】

続いて、中郷区立さとまる学校の説明を求める。

【中郷区立さとまる学校】

・提案書に基づき説明

【岡田(豊)会長】

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

【坂田委員】

C S委員会との整合性についてはどうなっているのか。

【中郷区立さとまる学校】

イメージでは、今までのC S委員会の構想の上に、今回の事業を活用させていただき、より一層地域全体に広めるためのグレードアップと考えている。

【坂田委員】

このことについては、C S委員会にもきちんと説明する必要があると思う。今回の事業との関連はどうなっているのか、はっきりさせておくべきではないのか。

【中郷区立さとまる学校】

今年度の第1回C S委員会が5月14日に開催するため、この席で説明をし、賛同を得ながら進めていくつもりである。

【岡田(豊)会長】

のぼり旗を1,000枚作成する方策についてはどう考えているか。

【中郷区立さとまる学校】

正直なところ、1,000枚というのはキレのよい枚数として計上した。したがって、是が非でも1,000枚必要という訳ではない。他に要望のあった事業とのバランスを考え、枚数を調整することは可能である。

【岡田(雅)委員】

このような運動を進めていく手段として、「のぼり旗」を選んだ理由は何か。

【中郷区立さとまる学校】

「幸せの黄色いハンカチ」的な発想である。C S委員会において、どのように、あいさつ運動を広めていったらよいかということも踏まえて、トップダウンではなく皆さんの議論の中で進めていきたいと考えている。

【高橋副会長】

主役は子供達であり、子供達自身があいさつをしていく啓蒙活動として、学校側も

フォローしていかないといけない。地域住民があいさつをしても、子供達からあいさつが返ってこないようなことがあってはいけないと思う。

**【中郷区立さとまる学校】**

昨年度のチャレンジウィークでは、小学校や中学校の担当教員が推進するという形であったが、今年度は、中学校であれば、生徒会があいさつ運動の企画を立てて実施することになっている。また、メディアコントロールと家庭学習は、教員側で行うが、あいさつについては、子供達の発想で取り組み始めているところである。

**【岡田(豊)会長】**

続いて、二本木・松崎宿保存研究会の説明を求める。

**【二本木・松崎宿保存研究会】**

・提案書に基づき説明

**【岡田(豊)会長】**

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

**【竹内(靖)委員】**

事業におけるハード面の部分に対し、この地域活動支援事業のほかに、国や県、市などの補助金を活用する考えはあるか。また、講演会については、昨年の情報だが教育委員会でも北国街道を子供達に伝えるため、一生懸命取り組むという計画があったと聞いている。このため、講演会は小学校や中学校、教育委員会などとの関連性をもって、できればこのような補助金を使わなくてもよい可能性があると思われる。

**【二本木・松崎宿保存研究会】**

他に補助金はないか調べたのだが、例えば、民間の富士フィルムでは補助金ではなく助成金があると聞いている。今後、そのような制度を活用できるか検討したい。講演会については、市やまちづくり振興会から講演をいただくなど、広くPRを行っている。今後はいろんな可能性を含め、検討していきたいと考えている。

**【岡田(龍)委員】**

“観光協会”や“まちづくり振興会”との連携は行っているか。

**【二本木・松崎宿保存研究会】**

特に、“膝を交えて”ということにはなかったが、情報交換は適宜行っている。今後は連携して行うことも視野に入れていきたい。

**【岡田(豊)会長】**

茶屋風休憩所は建物だが、見積もりを2件とも塗装屋からとっている。これには何か理由があるのか。

【二本木・松崎宿保存研究会】

平成25年度からの看板がらみにより、この延長線として考えていたことによるものである。

【古海委員】

中郷区内の2社からとった見積もりの内容についてだが、不自然な箇所がある。このような場であるため、具体的なことは申し上げないが、申請をする際には注意していただきたい。

【二本木・松崎宿保存研究会】

今後、十分注意する。

【岡田(豊)会長】

続いて、江端町内会の説明を求める。

【江端町内会】

・提案書に基づき説明

【岡田(豊)会長】

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

【岡田(龍)委員】

花を植栽した後は、何か計画しているか。

【江端町内会】

植栽した花については、配布をしている。商工会にもプランターに入れ、同様に配布している。

【岡田(龍)委員】

配布の対象世帯は、江端町内会だけではなく、中郷区内全域的なのか。

【江端町内会】

現在は、江端町内会の世帯に対して配布している。

【岡田(龍)委員】

もし、可能であれば、今後は対象区域を広げたらどうか。

【江端町内会】

今後、検討したい。

【山内委員】

“花のアーチ”は冬季のことを考えると、取り外しが必要と思われるが、対応可能か。

【江端町内会】

当然、冬季間は取り外しができるように考えている。

【岡田(豊)会長】

今年の総参加予定人数は 300 人と考えてよいか。また、昨年の参加人数の実績がわかかったら教えていただきたい。

【江端町内会】

人数は、正確に把握はしていないが、作業は、ほぼ毎週行っている。特に夏は、ラジオ体操の時に草取りをすとか、中には毎日行っている者もいる。

【岡田(豊)会長】

参加人数を把握するためにも、今後は、記録をつけるようにしていただきたい。また、当事業は、“町内会”の事業として取り組んでいるが、“町内会”としての負担が少なすぎると思われる。さらに、見積もりの件だが、花屋でないところから花を、肥料屋でないところから肥料を見積っている。ここが一番安いと判断したのであれば問題ないと思われるが。

【江端町内会】

町内会費からの支出については、反対している者もあり、調整ができていない。見積もりについては、ここが一番安いと判断し、依頼した。

【岡田(豊)会長】

続いて、中郷小学校 P T A の説明を求める。

【中郷小学校 P T A】

- ・提案書に基づき説明

【岡田(豊)会長】

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

【坂田委員】

費用についてだが、繰越により、かなりの金額を持っている。自己負担をもう少し考慮できないか。また、子供達と一緒に参画できるようなものにできないか。

【中郷小学校 P T A】

年々、PTA数が減ってきており、組んでいる予算も少しずつ減らしている状況である。他にも、いろいろな活動を行っているため、当事業に多くの予算を充てることは正直難しい。ただし、周知ポスターを減らすなどの調整は、PTA役員と相談し可能であると思われる。子供達が一緒に参画する件については、今までマラソンは、大会の前に練習するのみであったが、子供達が自分の体を考えて、「年間を通し、マラソンを推奨していこう!」、「週1回みんなで走ろう!」ということで、今年から実践する予定である。また、チャレンジアップの運動も、自分は何ができるかということを考えさせるために、今年から取り組んでいる。「意欲づけを図る」ことや、「自分が、今、行っている運動と比べる」ことで、よい結果が生まれることを期待している。講師は、子供達が一緒に運動できるような人を探したが、1年生から6年生までを一緒に見てもらう人は、残念ながら見つからなかった。

**【岡田(豊)会長】**

継続的に、このような講演会を行っているが、昨年の聴講人数はどれ位であったか。

**【中郷小学校PTA】**

昨年は、「表現力」ということで、サーカスの方に来ていただいたが、中学生1学年全員をはじめ、保育園児やお年寄りの方々からも聴講してもらった。正確な人数は把握していないが、大体280人位だと思われる。

**【岡田(豊)会長】**

ポスターにお金をかけている。地域活動支援事業というのは、中郷区に割り振られている事業であるが、活動は区内に限っていない。せっかく、森脇氏を講師に招くのであれば、他区にも広げてみるような考えはあるか。

**【中郷小学校PTA】**

そのようなことは、正直、今まで考えていなかった。今回は、他の区域にも呼び掛けて、沢山の方に集まってもらえるようにしたい。

**【岡田(豊)会長】**

続いて、岡沢老人クラブ松寿会の説明を求める。

**【岡沢老人クラブ松寿会】**

- ・提案書に基づき説明

**【岡田(豊)会長】**

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

#### 【山内委員】

昨年は県外へ出向いているが、市の補助金を使うわけだから、できれば、今年は上越市内で行っていただきたい。

#### 【岡沢老人クラブ松寿会】

昨年は、利用されるお年寄りの方から、「たまには、変わったところに連れて行ってもらいたい。」との意見があったことから、飯山方面に足を延ばした。今年は、できるだけ市内で行うようにしたい。

#### 【竹内(靖)委員】

1回の利用者数は、恐らく20人を超えていると思われるが、まちづくり振興会では10人乗り位の車を6月以降に所有できる状況となっている。このため、利用人数を調整し、同振興会の車を利用することも選択肢の一つとして挙げられると思う。バスのレンタル代が、事業費の大きなウエイトを占めていることから、このような方向性を考えることは可能か。

#### 【岡沢老人クラブ松寿会】

利用者は、およそ12人から20人近くである。10人以下であれば、今ほど言われた振興会の車を利用することも可能であるが、実際のところ、皆さんの顔を見るまでは何人集まるのか予想がつかない。人数の把握がしっかりとできればよいのだが、その日の体調により、突然、欠席する方が多くなることも考えられる。このため、振興会の車を利用することは難しいと思われる。

#### 【岡田(豊)会長】

対象範囲を、“岡沢”から“西部地区”に広げた理由は、“福田”も同様に、食料品店等がないからとのことであるが、このような目的だけで広げたのか。町内会の負担もあるようだが、対象を広げることに異論等はなかったのか。

#### 【岡沢老人クラブ松寿会】

現段階では、町内会に対し打診はしていない。なお、福田の皆さんには、以前に参加された方々へ個々に声がけをしている。

#### 【高橋副会長】

主に、どのような所へ行くのか。例えば、食料品店がメインなのか、ショッピングセンターのような所へいくのか。

#### 【岡沢老人クラブ松寿会】

市内とよばの「バロー上越モール」へ、主に行っている。理由は、ワンフロアで全部賄えるところがよい。目が届きやすく、皆さんの状況が把握できる。

【岡田(豊)会長】

続いて、ベストフレンズ歌夢圏の説明を求める。

【ベストフレンズ歌夢圏】

・提案書に基づき説明

【岡田(豊)会長】

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

【岡田(豊)会長】

個別の事業ではなく、「歌夢圏」全体の事業について提案がされている。各事業に参加すれば、謝金が出ると思われるが、この謝金が収入の部に載ってきていないが何故か。

【ベストフレンズ歌夢圏】

例えば、福祉施設に行った場合は、謝金はほとんど無い。その見返りとして、入居者の皆さんと一緒に、一つのテーブルで、お茶やお菓子をいただいている。それが、施設からのお礼ということである。また、祭りなどのイベントに呼ばれた際には、若干の謝金はあるが、これは、音響設備の利用費や交通費に充てている。

【岡田(豊)会長】

続いて、中郷区まちづくり振興会の説明を求める。

【中郷区まちづくり振興会】

・提案書に基づき説明

【岡田(豊)会長】

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

【岡田(豊)会長】

購入品が主となっているが、地域活動支援事業は、購入品をあまり好まないという性質があり、購入した場合、何年間も同じ事業が継続していけるのか疑問に感じる。また、見積もりの件だが、上越市内の業者からとっていること自体はよいのだが、お聞きしたいのは、例えばこの性能のパソコンを買うとしたら、皆さんは、この値段で買うだろうか。私だったら別の方法で買う。何故かということ、大事な税金を使うからである。このことを念頭に、もう少し下げる努力も必要なのではないか。

【中郷区まちづくり振興会】

例えば、ハンドマイクについては、イベントの際、中郷区総合事務所から借用して使っているが、いつまで使えるか分からない状態である。もし、壊れたら総合事務所で買っていただけるのかどうかも不透明なことから、今回申請した。また、中郷区の地域や団体など要請があった場合は貸し出すなど、みんなで一緒に使っていければと思っている。プロジェクターについても同様で、地域の催しがあった際、パソコンによるパワーポイントもしくはスライドなど幅広い利用が期待できる。見積もりは、正直なところ、私も高いと思う。大手家電量販店であれば、もっと安く買えるのであろうが、他にもインターネットなどを使い、少しでも減額できるよう調整していきたい。

【岡田(豊)会長】

高齢者ふれあいイベントなどは、新たに市から受けた事業の方で一部負担はできないのか。

【中郷区まちづくり振興会】

できない。

【岡田(豊)会長】

その事業で、10人乗り位の車を購入した。それならば、今回申請しているパソコンなどの備品関係も購入できないのか。

【小嶋所長】

当事業の補助金は350万円が限度額であるが、すでに車の購入で使い切っているため、新たなものは購入できない状況である。

－ 全団体からの発表が終了、地域協議会委員の意見交換 －

【竹内(靖)委員】

2点ほどお願いしたい。1点は「ひだまりの会」の件であるが、板倉の「やすらぎ荘」へ行くとのことで議論があった。これを踏まえ、行政と地域協議会は「ひばり荘」のメディカルケアに対し、現在の事情と今後の方向性について確認をとっていただきたい。もう1点は見積もりの件であるが、市内であることを問わず、インターネット等を含め安いところを選んでいくという考えでよいのか。当事業は、市内の業者を最優先するという事で行政指導があったと思われるが、どうなのか。

**【岡田(豊)会長】**

税金を使う観点から、購入先について、市はどのように考えているのか。また、「ひばり荘」の運営の問題については、プレゼンテーションの中で非常に多くの不満がでたことに対し、高齢者支援課長へ申し入れをしていただきたい。

**【小嶋所長】**

購入先については、市では、なるべく市内の業者から購入いただきたいと考えている。

**【岡田(豊)会長】**

それならば、購入品の性能が満足できれば、市内の大手家電量販店で購入しても構わないか。

**【小嶋所長】**

構わない。

**【坂田委員】**

提案される各事業が年々洗練され、よい方向に向かっていると感じている。このため、14団体の補助金要望額が、配分額を100万円ほどオーバーしているが、できれば全団体を採択したいというのが、私個人の想いである。また、二本木駅を中心に事業を展開していこうとする団体がいくつかあったことから、各団体が調整のうえ、事業を整理することも必要だと思われる。

**【岡田(豊)会長】**

昨年の地域協議会において、「二本木駅を中心とした活性化」をテーマに話し合いがされた。この時は、総合事務所が中心となり、みんなで話し合っていく段階を進めるとのことであったため、今後、進めていくよう努力いただきたい。これにより、各団体が、お互いに関連しながら無駄を省け、効率的なイベント等が実施できると思われる。また、坂田委員からの「全団体を採択したい。」旨の発言を受け、本採点に入る前に確認をしたい。今までは、採点による上位から補助金を充てていき、配分額をオーバーした時点で、下位を切り捨てるやり方をとってきた。今まで通りのやり方でよいか、それとも全事業一律カットするかなど、皆さんの意見を聞きたい。

**【高橋副会長】**

減額が可能な団体については、「できれば減額できませんか。」ということで依頼すればよいが、一律にしてしまうことは、あまり芳しくないと思われる。

【岡田(豊)会長】

保育園のように自主的に他から見積もりをとって、すでに事業費を減らしているところについては、更なる減額の依頼はできない。

【坂田委員】

一律は無理なのでは。

【山内委員】

減額できるところは、減額するように依頼してよいと思う。実際に、減額できそうな団体もいくつか見受けられる。

【岡田(豊)会長】

それでは、今回のプレゼンを受けて、12日に皆さんから、更に聞きたい質問を提出していただくが、質問状の送付の際に“減額できる要素があったら、減額いただきたい、旨の要請を全団体に行うことにしたい。

【岡田(豊)会長】

その他、委員の発言を求める。

【岡田(豊)会長】

他に発言がないため、これをもって、本日の会議を終了する。

次回の会議は、5月27日(水) 午後6時30分から地域活動支援事業の審査結果等を案件として「中郷区総合事務所」で行うこととする。

(終了 午後5時35分)

9 問合せ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0 2 5 5 - 7 4 - 2 4 1 1

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。